

高等部3年生の保護者を対象とした、  
「卒業後の暮らし あれこれ座談会」



卒業後のサービス利用、障害基礎年金の申請など、先輩から、たくさんの情報を聞かせていただきました。

手をつなぐ  
とやま

学齢期支援プロジェクト  
「モコモコサークル」



パソコンを使って、プログラミングでゲームづくりに挑戦！

第170号

富山県手をつなぐ育成会  
富山市安住町5-21  
富山県総合福祉会館内  
TEL 076-441-7161  
FAX 076-441-7255  
mail toikusei@minos.ocn.ne.jp  
HP http://toyamaikusei.jp/  
発行責任者  
平野 幹 夫



あなたです！差別するのもしられるのもし

みなさんの会報です よく読みましょう

本人活動部会  
「県議会の傍聴」と「県議会議員との懇談会」



### 本人活動部会 (3月5日火) 県議会の傍聴・県議会議員との懇談会

本人活動部会では、毎回、テーマを決めての話し合いなどを行っています。

その内容は、仕事や暮らし、グループホーム、金銭管理、療育手帳、公共交通機関、虐待やいじめなど、多岐にわたります。

また、選挙や政治、その時々々の社会的な出来事、いわゆる「自治ネタ」への関心も高く、将来こうなったらいいな、こうなるのもつと便利なものという希望、わからないことを聞いたり、教えたりと、毎回大変盛り上がっています。

県育成会の四方理事長は、県議会議員(※今期で引退)ということもあり、いつか、県議会議員のみなさんと、障害のある本人たちの暮らしや仕事について、困っていること、不便に思っていることなど、話し合ってみようという、長年、持ち続けていた願いが、今回実現しました。



懇談会には、上田英俊議員、奥野詠子議員、山崎宗良議員、四方正治議員、大村県障害福祉課長にご出席いただきました。

四方理事長が一般質問を行う議会日程に併せて、県議会の傍聴も初体験しました。  
意欲のある知的障害者が卒業後

— 守る 人権 明るい未来 —

も学ぶ場を確保するための、福祉型大学設立の可能性などの質問をされた四方理事長に、「さすが！」と感激し、思わず拍手をしてしまう場面もありました。

議会が終わり、いよいよ議員の皆さんとの懇談会です。

今回参加した7名が、それぞれの項目について発言しました。

- 療育手帳のカード化への希望、また、障害の程度の違いによって、サービスの内容が異なることが、よくわからない。
- 津久井やまゆり園事件にショックを受けたこと、虐待や差別、いじめがなくなり、安心して働き、暮らしていきたい。
- 今の給料や工賃、障害年金だけでは暮らしていけない、将来がとて不安。
- 働ける場所や業種を増やしてほしい、職場に障害のある仲間がもっといてほしい。
- 残業が多く、大変な人がいる一方、仕事が少なく、仕事を増やしてほしいという声がある。
- コミュニティバスを増やしてほしい、全ての交通機関でIC

カードを使いたい、ICカードで障害者割引もしてほしい。

●学校を卒業した後も、法律や税金、災害、選挙、福祉サービス等、勉強する機会がほしい。

これらは、事前の本人部会で、県議会について勉強会を行い、どんなことを話したらいいか考え、まとめたものです。

また、自由な意見交換では、特に、障害のある人の就労に時間が割かれ、それぞれの職場の環境、仕事の内容、給料、悩みを相談する相手の有無、不満、やりがい等について発言しました。

議員の皆さんからは、障害のある人の率直な話しを聴いて、働く環境等を知る、貴重な時間だった、また、このような機会を持ちたい、もっと話を聞いてみたいと、大変うれしい感想をいただきました。

最初は、緊張の連続でしたが、自分たちの暮らしや、障害への理解が深まるように、選挙や議会に、もっと関心を持ちたいという発言も飛び出すなど、大変、充実した経験となりました。

#### 考える力を鍛えよう

講師の保科さんから提供された資料には、「プログラミングは、楽しみながら創造の幅を広げ、かつ、論理的な思考力を鍛えてくれるものです。『どうやったらできるかな、どうしたら問題が解決されるかな?』という、前向きで建設的な考える力を鍛えることで、日常生活においても、きつと皆さんを助けてくれる大切な力となると思います。』といった思いが綴られていました。

育成会にとっても、初の試みだった「プログラミング体験」。

対象年齢や周知方法、開催場所、機材などの課題は残りしましたが、あれこれ考えながらプログラミングに挑戦したお子さんたちには、「僕にもできた!」という大きな達成感があったのではないかと思います。

今年度の「モコモコサークル」でも、考える力を鍛え、達成感をつかめるプログラミング体験を開催したいと思います。

### 権利擁護推進委員会 学齢期モコモコサークル(2月16日土) 「親子で一緒に、ゲームプログラミング体験」

平成30年度にスタートした、学齢期の「モコモコサークル」。

今回は、特別支援学校、特別支援学級の小学4年から6年生の親子を対象に、「親子で一緒に、ゲームプログラミング体験」を開催しました。

講師は、モコモコサークルを企画した権利擁護推進委員で、学齢期のお子さんの保護者でもある、保科雅子さん、岩城佳世さんです。

パソコンに触れたことがない子、マウス操作をしたことがない子、家でもプログラミングをやっている子と、参加者の経験値はまちまちでしたが、講師のお二人は、放課後等デイサービスで、パソコンスクールの指導をされているとあって(開催当時)、障害のあるお子さんへのわかりやすい説明と、雰囲気づくりで、あつという間に緊張もほぐれていきました。

#### プログラミングってなに?

プログラミングと聞くと、複雑な命令文や英数字などの文字を打ち込むなど、難しそうなイメージがありますが、今回は、ブロックを選び、パズルのように組み合わせ、並べるだけで、直感的、視覚的にゲームを作ることができるよう「ムーンブロック」というプログラミングを体験しました。



基本の操作、動作を教えてもらい、ゲーム制作に移ると、「バナナをとってみよう」

「モンスターでじゃましてみよう」と、おもしろい言葉が出てきます。後ろの空いたパソコンで、事務局スタッフも、初めてのプログラミング体験をしてみました。わかりやすいので、楽しく、自

#### どうやって作るかな?

ひと通り体験した後は、自分だけのオリジナルゲームづくり。「もっとこうしたい!」、「こんなふうにしてみたい!」、「こうしたらどうなるかな?」、「どうやったらできるかな?」と、親子で相談しながら、いろいろなアイデアを試し、自分だけのオリジナルゲームができたら、席を交換して、他の子が作ったゲームに挑戦。

「これ、すごくむずかしい!」、「いっぱい画面が変わって、おもしろいね」と、いろんな感想が交わされていました。最後はひとりずつ、オリジナルゲームづくりで工夫をしたところを発表する姿に、一緒に参加したお母さん方も、嬉しそうに見守っていました。

— 育もう 傷みをわかる 心の眼 —

【年齢期部会（高等部3年生の保護者対象）

# 卒業後の生活『あたたかい』座談会

平成31年3月3日(日)

学校を卒業した後の生活は、大きく変わります。

育成会事務局には、学校を卒業してから、問題行動が増えて困っているという話や、障害基礎年金の申請の仕方など、いろいろな相談が寄せられます。

今回は、高等部3年生の保護者を対象に、先輩のお母さん方と、どんな質問でもOK、ざっくばらんに、あれこれ、話し合う座談会を開催しました。

## やっぱり気になる障害年金

先輩お母さんとして参加いただいたのは、しらとり支援学校出身の、宮田真知子さん、干場千鶴さん、亀山真理子さんです。

最初は、一番気になる、「障害基礎年金」についてです。

宮田さん、干場さんから、「申し立て」までのスケジュールや準

備しておくこと、病院選びなど、ポイントをしぼってお話ししていただきました。

審査は、書類のみで判断されるため、「診断書」と「申立書」が重要な決め手となること、親が記入する申立書は、一人暮らしを想定して「できない」ことを書くこと、など具体的に例をあげながら、書き方を詳しく披露していただき、一同「ほおっつ」と感嘆の声。



参加者からの質問も途切れませんでした。

## サービスを利用しながら

### 親離れ子離れを

次に、大きく変わる、卒業後の生活です。

帰宅時間、家にいる時間が変わり、親子関係にも影響が及びます。宮田さんは生活介護、亀山さん

はA型事業所の利用に併せ、移動支援、日中一時支援、ショートステイ等、様々な福祉サービスを利用しています。

亀山さんは、仕事帰りのカラオケやボウリング等に移動支援を利用しています。仕事帰りで疲れてしまいかと思いきや、自分のやりたいことを存分に楽しみ、いきいきとした顔で帰ってくる、息子さんの様子をお話しされました。

宮田さんは、移動支援を使い、育成会行事への参加、ジム、プール、スキー、美術館等、息子さんの好きそうな場所で様々な体験をさせています。息子さんが少しずつ大人びていく様子を感じとれる、とお話しされました。

息子さんの分厚い受給者証を紹介して、日中の通所利用だけに留まらず、受給者証がいつぱいになるほどにサービスを利用していること、親だけの狭い視野を広げられるよう、周囲に子どもを護り、支えてくれる人をたくさん作り、親子が少しずつ距離を置くことで、親離れ子離れする訓練をしていくことをお勧めされました。

# 全国育成会連合会 全国大会（京都大会）

平成31年2月23日(土)・24日(日)

平成最後の全国大会は、京都市で開催されました。

大会スローガン、「京（みやこ）からほほえみあふれる新しい未来へ」には、昭和、平成と脈々と築いてこられた育成会の歴史をしつかりと受け継ぎながら、ほほえみあふれる新たな時代を切り拓いていこう、京都大会がそうした思いの実現に向けた契機になってほしい、という願いが込められています。

全国から延べ約四千人、富山県からは51名（内、本人12名）が参加しました。

初日に行われた分科会は、新たな時代を切り拓くべく、全国大会では初めて、「きょうだい」をテーマとした分科会が設けられました。

年齢や性別、家族構成、障害の程度によっても異なりますが、障害のある子どもが中心となりがちな家庭の中で、「きょうだい」たちは、いろいろな悩み、思いを抱えています。

わがままは言えない、外食に連れて行ってもらえない、友達を家に呼べない、話せない、いつかは親の代わりに自分が面倒を見なければという漠然とした思い。

講師の松本さんは、自閉症を伴う知的障害の弟さんとの関係や、ご自身の体験、感じたことをお話しされ、生まれた時から親亡きあとまで、障害のあるきょうだいと関わっていく、「きょうだい」の人生を、「親は半生、きょうだいは一生」と表現されました。

そんな「きょうだい」たちにも支援が重要であり、体験や思いの共有、情報交換ができる貴重な場所として、『きょうだい会』の活動を紹介されました。

富山県育成会でも、親亡き後の勉強会や、成年後見制度の研修会等で、「きょうだい」の存在がクローズアップされています。また、若い保護者からも、きょうだいについて気がかりなことな

## 障害のある人の生活を豊かにするために

「移動支援」の話は、若い保護者の皆さんの関心呼び、質問があまりでしたが、利用できる日数が少ない場合や、地域によってはサービスを提供する事業所がないということもわかりました。

宮田さんは、「ショートステイ」も利用できる場所が少なく、ほとんど利用できないという現状を説明し、足りないサービスや、困っている事を、みんなで声をあげていかなければ、いつまでたっても変わらないと指摘されました。

知的な障害のある人は、弱い立場にあり、虐待、差別、偏見の目はまだまだ残っています。また、一人では生きにくく、後ろ盾が必要な人たちです。そんな人たち、家族のために、「育成会」は活動しています。

亀山さんは、学校では先生に相談できたが、卒業後に頼りになるのは育成会のような団体だと実感していること、干場さんは、学齢期の頃から育成会の事務所によく

ど、悩みを聞いたりもします。きょうだい同士で交流したり、語り合ったり、また、親がきょうだいたちの思いを聴けるような機会を、県育成会で設けられたらなと思いました。懇親会では京都らしく、舞妓や芸妓さんが登場し、見事な舞が披露されました。



## 表彰おめでとうございます

若林 清彦 さん  
入善町手をつなぐ育成会  
（社福）にいかわ苑 理事長

### 富山県知的障害児者生活サポート協会だより

#### 平成30年度 3事業助成一覧

##### 1 日常生活相談支援事業

No.	支部名	事業名	内容
1	黒部支部	ボランティア活動 (座布団作り)	経験者から教わりながら作成。市役所(20枚)と社協(10枚)に配布し、早速活用していただいている。
2	魚津支部	研修会 「高齢になっても 地域で自分らしく 生活していくために」	午前福岡先生から、障害者が地域で安心して自分らしく生活していくために、今から準備しておくことについてお聞きし、午後からは今抱えている悩み事、将来の不安について、話し合い助言をいただいた。
3	新川むつみ園支部	研修会 「やさしい関わり方のレシピ」	権利擁護と虐待防止を意識できるようになる参加型講演。講師は、富山国際大学 子ども育成学部教授 村上満 先生。
4	恵光学園支部	保護者と園児の研修会	アロマテラピー、施設見学(放デイ)、子育て体験談、ラテ教室を実施。保護者のリフレッシュになるもの、今後の子育てに役立つことも学べた。
5	富山支部	ジョイジョイクラブ (きょうだい支援)	きょうだい会の役割、悩みについてお話する「きょうだいの講演会」を実施。
6	富山支部	トライアルキャンプ2018	自然に触れる、買い物、調理など「体験・挑戦」をテーマにした長野宿泊研修。
7	富山支部	地引網漁体験	知的障害者と健常者が同一の場で、レクリエーション活動を通してコミュニケーションを図る。
8	セーナー苑支部	やまびこの丘来苑日の 親子活動	じゃんけんやストレッチなど脳を活性化させる運動を行った。講師は、健康運動指導者 古川公成 先生(株共笑コンディショニング代表)。
9	大島支部	ボウリングレクリエーション	ボウリング大会を通じて、冬の運動不足解消、親睦、コミュニケーションを図る。
10	高岡支部	高岡市きずな子ども 発達支援センター 研修会とピアカウンセリング	ピアカウンセリングでは、就学に向けての流れや支援学校と支援学級の違い、親としての心構えなど、研修会では、保護者の心配事や対応について学んだ。
11	新生苑支部	サポートノート 学習会	あんしんサポートノートについての学習会を実施。
12	氷見支部	本人活動 日帰りバス旅行 (牧歌の里)	牧歌の里でバーベキュー後、親子でものづくりなどにチャレンジした。
13	氷見支部	親子サロン	クリスマス会と、正月の花飾りづくりを行った。
14	となみ総合支援 学校支部	クリスマス会	マジックや玉すだれのショー、親子でのバルーンアート等を通して、子どもたちと保護者相互の親睦を図ることができた。
15	となみエリア	すまいる相談会	社協、相談担当者、障害者相談員、サポートセンターの相談員、成年後見福祉会の理事が協力して様々な相談に応えた。
16	となみエリア	夏まつり地域交流会	模擬店や和太鼓、フラダンスなどを通して、地域や関係企業の方々を含め、400名余が参加し、楽しく交流ができた。
17	となみエリア	アールブリュット先進事例研修 (滋賀県)	地道にアール・ブリュットに取り組んできた「やまなみ工房」から、障害者福祉の理想的な姿を彷彿とさせてもらった。
18	射水支部	親子研修 「白川郷～散策と体験～」	大雨のため散策は中止し、親子で協力しながら、コースターの製作と合掌造りの見学を行った。
19	砺波支部	よってカフェ	支援学校を卒業した砺波地区のOB、OGや在学中の児童、生徒を対象に、年8回開催し、障がいをもった方から健常者までが集い、ともに楽しめる場を提供した。
20	かたかご苑支部	施設見学	GH見学を行い、安心して地域での生活が行える支援や、自分と同じように好きなことは不自由なく行えるように、支援していることとお聴きました。

##### 2 就労相談支援事業

1	富山エリア	事業所合同説明会	しらとり支援学校の学習参観日に同校にて開催。7施設が参加。
2	富山エリア	学齢期の保護者のための 施設見学会	学齢期の保護者を対象として、卒業後の進路選択の参考に、あざみ園、つつじ、このみを見学した。
3	となみエリア	ふれあい交流会 (お元気です会)	手をつなぐとなみ野南天桐を卒業(就労)された方や、各作業所より就労された方が一堂に集まり、日頃の仕事をみんなに伝え、「がんばっているね」と声を掛けられるなど、頑張るための力になっている。

##### 3 権利擁護相談支援事業

1	高岡・氷見エリア	成年後見制度利用促進事業	氷見市と高岡市で社会福祉士の方を迎えて、個別相談会を開催。相談者が抱える問題を市福祉課、市社協につなぐことができた。
2	県育成会	学齢期支援プロジェクト もこもこサークル 「親子で楽しむイベント」	インテリアクロック、落書き大会、プログラミング体験を実施。

### 富山エリア

#### 学齢期の保護者のための施設見学会

障害者支援施設「あざみ園」、富山市婦中町生活介護事業所「つつじ」、多機能型事業所「このみ」の3施設を見学してきました。参加者は、しらとり支援学校、富山大学人間発達科学部附属特別支援学校の保護者36名でした。

自宅から近いこともあり、我が子と照らし合わせて見学してきました。印象はきれいでのびのびした環境で、利用者は学校生活で学んできたことを活かし、物凄い集中力で作業していました。現在は定員割れの状況ですが、一度入所すると出る人がほぼおらず、やや高齢化しつつあるそうです。今後、多くの障害者が働き過ごせる場所を増やしてほしいと感じました。(参加者)



### 新生苑支部

#### サポートノート学習会

あんしんサポートノートが、本人の事を周りの人に分かってもらう為に記入が必要だと分かりました。自分で分かる範囲で記入してみた所、姉の昔の事は自分では分からなく、母親が元気なうちに少しでも記入を進めたいと思います。(参加者)

親亡き後の事を考えると、あんしんサポートノートは大事だと感じました。いざ書こうとしたら、分厚くて大変でした。でも少しずつ書いていこうかなと思います。(参加者)



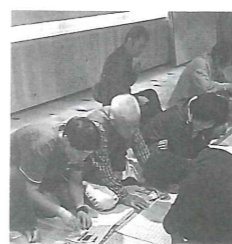
親の愛情がいっぱい詰まったサポートノートは、写真がいっぱいの本人の成長アルバムだと思いました。本人の特徴や個性がサポートノートから感じることが出来る。それが、親、家族以外への人たちの支援の指針になると思いました。このノートで、本人のこれからのライフプランの計画に活用し、親亡き後の支援が充実できると思いました。(参加者)

### サポート協会 3事業報告

#### 射水支部

#### 「バスで行く白川郷～散策と体験～」

#### 親子研修



参加人数81名となり、大変多くの方々にご参加いただきました。研修旅行当日は大雨となってしまう、当初予定していた白川郷散策は中止となりました。ヒノキのコースター作りに挑戦しましたが、細かい木の板を編んで作成するため難しく、予想以上に時間がかかりました。

親子で協力しながら無事に作り終えた後、出来上がった作品を見て、皆さん大変満足されていました。その後、合掌造りを見学し行程を終えましたが、雨にも関わらずいろんな体験もでき、親子のふれあいや会員相互の親睦も深める機会となりました。

#### となみエリア

#### 夏まつり 地域交流会

夕方(17:00~20:00)から開催し、地域自治会、関係企業、深明会、手をつなぐとなみ野利用者、保護者、ボランティア、職員など400名余りの皆様にご参加いただきました。

模擬店の出店(自治会、利用者、保護者、職員など)や和太鼓、フラダンスなどの催しを通して、日頃からお世話になっている地域や関係企業の多くの方々と共に楽しく交流する機会になりました。



事務局職員人事異動

- 平成31年3月31日付  
依願退職/事務員 村中 大治
- 平成31年4月1日付  
新規採用/任・事務員 浅野 苑美

◆育成会の本のご紹介

「親なき後」をみんなで支える

知的障害のある人の高齢化を  
支える4つのポイント

(全国育成会連合会 編/112ページ/1000円+税)

相談、医療、住まい、お金の4つのポイントから、高齢期を迎えた知的障害のある人を支えていくための、ネットワークの在り方について解説しています。

「今は何とかなっている。でも、この先が心配」：そういった方にこそ、手に取っていただき、いまでできることから始めるきっかけにしてほしい一冊です。

お問合せは、富山県手をつなぐ育成会まで。

ご寄付をいただきました  
ありがとうございます

- 富山パイロットクラブ 様
- 細川 瑞子 様
- 森下 吉光 様
- 上市町相ノ木小学校児童会 様

育成会の動き

期 日	内 容	期 日	内 容
<b>[追加報告]</b>		5/30(木)	県調整委員会 (県民会館)
3/4(月)	にいかわ苑「すずらん」竣工式 (にいかわ苑)	〃	富山障害フォーラム 会議 (富山市)
3/5(火)	本人活動部会 議会傍聴と 県議会議員との懇談 (県議会議事堂)	5/31(金)	全国サポート協会社員総会 (東京)
<b>[報告]</b>		6/2(日)	本人活動部会 (サンシップ)
4/1(月)	障害者差別解消法と富山県条例の 普及啓発街頭キャンペーン (富山駅)	6/11(火)	県障害者社会参加推進協議会 (サンシップ)
4/4(木)	富山障害フォーラム 会議 (富山市)	6/12(水)	いみず苑「ひだまり」竣工式 (いみず苑)
4/7(日)	本人活動部会 (サンシップ)	6/23(日)	富山県手をつなぐ育成会大会 (射水市)
4/11(木)	運営委員会 (サンシップ)	6/25(火)	全国育成会連合会定時総会 (東京)
4/14(日)	セーナー苑育成会総会 (セーナー苑)	6/27(木)	県社会福祉協議会 評議員会 (サンシップ)
4/16(火)	県育成会権利擁護推進委員会 (サンシップ)	7/2(火)	県育成会権利擁護推進委員会 (サンシップ)
4/21(日)	県障害者スポーツ水泳大会 (東富山温水プール)	7/3(水)	県小学校長会・中学校長会 (教育記念館)
4/25(木)	県知的障害者福祉協会総会 (サンシップ)	7/4(木)	共生フォーラムプロポーザル (企業局会議室)
〃	東海北陸手をつなぐ育成会協議会 理事会 (金沢市)	〃	富山障害フォーラム 会議 (富山市)
4/26(金)	全国サポート協会理事会 (東京)	7/10(水)	サポート協会理事会 (サンシップ)
4/28(日)	理事・監事・支部代表者会 (呉羽ハイツ)	7/17(水)	特別支援学校長との懇談会 (呉羽ハイツ)
5/15(水)	共同募金助成決定書交付式 (サンシップ)	7/19(金)	県民福祉推進会議 (サンシップ)
5/21(火)	サポート協会理事会 (サンシップ)	7/25(木)	県人権教育・啓発推進懇話会 (国際会議場)
5/23(木)	県パーキングパーミット制度検討委員会 (県民会館)	7/26(金)	福祉フォーラムプロポーザル (サンシップ)
5/28(火)	県議会自民党政調会 平成31年度予算要望回答 (県議会議事堂)	<b>[予定]</b>	
5/29(水)	県特別支援教育研究会 全体研修会 (高志会館)	8/6・7	障害者相談員(3障害) 活動強化研修会 (火・水) (金太郎温泉)
		9/7(土)	「障害フォーラム in とやま」 (富山市総合社会福祉センター)
		9/14・15	第52回 手をつなぐ育成会 (土・日) 東海北陸大会石川大会 (金沢市)

あつあぶない 子供は動く 赤信号